

<講師紹介>

高橋 均 (たかはし ひとし)

1969年 埼玉県出身

1991年 日本大学歯学部付属歯科技工専門学校卒業

同年 株式会社 松風 東京営業所 入社

現在 株式会社 松風 東京支社 学術課 学術二係 勤務

日技認定講師 (218号)

青森歯科技工専門学校非常勤講師

日本大学歯学部付属歯科技工専門学校非常勤講師

<演題>

各種審美補綴マテリアルの特性を考慮した使用法について

“光重合型歯冠用硬質レジン～プレスセラミックスの応用”

歯科における審美要求は年々高まりを見せ、審美修復材料も多品種に及んでいます。

そのような中、当社では1976年の金属焼付用陶材“ユニボンド”の発表を皮切りに、

金属焼付用陶材“ヴィンテージ”、オパールポーセレン、バリュー・コンバージョン・システム、NCCコンセプトなどの開発を行ってきました。これらの材料コンセプトは、世界中の歯科用陶材市場に大きな影響を与え、現在における歯科用陶材の特性には欠かせないものとなっています。

そして、色の特性としての技術はヴィンテージAL・ZR・MPへと継承されています。

また、光重合型硬質レジンのソリデックスやハイブリットタイプセラマージュにも陶材と同様の色再現性は生かされています。

今回は、メーカーに勤務する立場から臨床で使用されている各種マテリアルのより効果的な使用法と新製品紹介をさせていただきます。

- ・レジン系材料 (ソリデックスハーデュラ、セラマージュ、ライトアート)
- ・陶材 (MP、ZR、AL、プレスオーバー、ユニレイヤー、アート)
- ・その他 (コバルタンMB、アルゴンキャスターi、他)

* 簡単なデモ説明と器材展示も予定しております。